

セッション5: 『その他1: 学生, その他医療関連企業, 各種団体など』 (3)

演 題: 患者の視点からの個人情報保護

演 者: 瀬戸 加奈子 (せと かなこ)

所 属: NPO法人ヘルスケア・リレーションズ/東京大学先端科学技術研究センター

「医療に関する情報は誰のものか」この基本的な命題が、患者の視点から個人情報保護を考える基本である。

NPO法人ヘルスケア・リレーションズでは個人情報保護法への対応は、医療機関が医療に関する情報は誰のものを改めて考える契機になると考えている。実際、保護法の礎となったOECDガイドラインでも「本人参加」と明示されている。

今後、情報公開がより促進されることで、医療従事者と患者の信頼関係により影響を与えるであろう。

今セッションにおいては、外来・入院などの代表的な場面を挙げ、個人情報について患者が気になる点を述べたいと思う。

【演者紹介】

特定非営利活動法人ヘルスケア・リレーションズ理事
東京大学先端科学技術研究センター協力研究員

1977年東京都生まれ。

北里大学看護学部卒業後、北里大学病院看護部勤務。

2004年8月より東京大学先端科学技術研究センター協力研究員。

2005年2月に特定非営利活動法人ヘルスケア・リレーションズを設立し、理事に就任。

保健師・看護師・診療情報管理士。